

2008年10月25日

『東武鉄道の踏切問題』(資料集、CD-ROM版)  
実費頒布のご案内

半沢一宣

2005年3月に当地の手動式踏切(当時)で発生した死傷惨事を中心とした、標記の資料集がこのほど完成しました。

当地では「開かずの踏切」問題が深刻化してきた昭和40年代から、東武伊勢崎線高架化を求める住民運動が始まっていました。これに対して、東武鉄道は「近くにある営団地下鉄~東京メトロの車庫との連絡線の勾配が急になり過ぎるため高架化できない」という虚偽の風説を自ら流し、地域住民に高架化を諦めさせる世論操作を行うことで「開かずの踏切」を漫然と放置し続けてきました。今回の死傷惨事は、その延長線上で発生してしまったものです。

この死傷惨事については、遺族が、歴代の竹ノ塚駅長や東武鉄道本社の担当者が、現場の踏切保安係全員が「開かずの踏切」状態を緩和する目的で、以前から遮断機操作ミスによる事故を防ぐための安全装置を殺して踏切を開ける取扱方を行っていた実態に見て見ぬふりを続けていた特異性に鑑み、鉄道事故としての調査を行うよう、国土交通省の航空・鉄道事故調査委員会(同)に要請していました。しかし事故調は、私も同席していた要請の席で「宿毛事故や尼崎事故の調査で忙しい」と言い、遺族の要請を拒絶しました。

また、東武鉄道は、死傷惨事発生を受けて当地の踏切を自動化した後は、安全確保上の必然性が認められない、必要以上に長すぎる踏切遮断時間によって「開かずの踏切」問題をより一層深刻化させ、地域住民の「移動の自由」=交通権の更なる侵害を引き起こしています。

それでいて、同社の上層部の面々は、これら一連の問題に関して何ら社会的責任を問われず、今なお同社の鉄道事業の中枢に居座り続けています。

私は、これらの客観情勢を踏まえ、踏切施設の管理者たる東武鉄道の未解決の責任問題に係る客観的・科学的証拠を集め、記録に残す作業を続けてきました。ただ、収録すべき資料の分量の関係上、紙媒体の図書として自費出版する経費を負担しきれないことから、電子図書という形で出版せざるを得ませんでした。

資料集の概要は、以下のとおりです。

形態	CD-ROM1枚
ファイル形式	本文はPDF形式 踏切の警報音の録音はWMA形式のサウンドファイル HTML形式(Webページスタイル)の目次を添付
総ページ数	A4判400ページ(表紙、奥付等を含むすべてを紙に印刷した場合)
主な内容	
第1章	竹ノ塚踏切死傷惨事発生前の、第37号踏切立体化を求める住民運動など (足立区議会あて請願、足立区長あて署名用紙、迂回道路の整備経過など)
第2章	竹ノ塚踏切死傷惨事発生当時の、第37号踏切を取り巻く状況 (竹ノ塚駅構内および踏切詰所内の略図、列車本数の変遷、当時のダイヤなど)
第3章	竹ノ塚踏切死傷惨事発生後の、東武鉄道の対応 (ホームページで公表した調査報告書、竹ノ塚駅構内に掲出した告知文など)

- 第4章 竹ノ塚踏切死傷惨事発生から自動化直後までの、第37号踏切と第38号踏切の状況  
（遮断時間の長さの実測調査結果や、警報音の周波数特性の解析結果など）
- 第5章 竹ノ塚踏切死傷惨事発生後の、地元の動き  
（「竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会」結成前後まで。足立区議会と足立区  
長が国土交通大臣に手渡した意見書・要望書、住民集会での配布資料など）
- 第6章 踏切保安係の刑事裁判の傍聴記録  
（すべての公判を傍聴してきたときのメモと、補足説明）
- 第7章 竹ノ塚踏切死傷惨事に関連して、半沢が作成した文書類（主なもののみ収録）
- その1 東武鉄道あて質問状と回答書など
- その2 国土交通省あて問い合わせと回答書など
- その3 捜査・司法機関への働きかけ
- その4 足立区議会あて陳情と議決結果の通知
- その5 交通権学会で発表した文書
- 第8章 東武鉄道以外の各鉄道事業者における、踏切保安対策の概要  
（JR旅客6社と全国の手私鉄15社へのアンケート調査票と集計結果、関東  
大手私鉄各社の「開かずの踏切」の現地調査報告など）
- 第9章 その他の資料（竹ノ塚踏切死傷惨事関連の年表ほか）
- 追録 東武東上線ときわ台踏切「事故」への疑問符  
－ 鉄道の定時性＝事業者のメンツを守るためには、救える命を見殺しにするの  
もやむを得ないのか？ －  
（2007年2月6日に発生した、自殺志願？の女性を助けようとした警察官が  
急行電車にはねられ殉職した惨事が、事故ではなく事件であった疑いがある問題  
について）
- 付録 『東武鉄道の踏切問題に関する調査報告書』  
（半沢が踏切自動化後に足立区議会へ提出した「東武伊勢崎線竹ノ塚駅構内の踏  
切の遮断時間短縮を求める陳情」に付帯する関連資料をまとめたもの）

この資料集は半沢のホームページ <http://www.geocities.jp/hnzwkznr/index.html> にも掲載しています。ただしプロバイダとの契約容量の関係で、CD-ROM版ではスキャナ入力で作成したコンテンツ（関係各所からの回答書など）の一部は、インターネット版ではキーボード入力で作成したものに差し替えています。

このCD-ROMを実費で頒布いたします。ご希望の方は、送料込み2000円を郵便振替「00150-5-578411 半沢一宣」へご送金ください。その際、通信欄に「HP」と明記願います。入金確認後1週間程度で、レターパックにて発送いたします。

ご不明な点がございましたら、[hnzwkznr@yahoo.co.jp](mailto:hnzwkznr@yahoo.co.jp) までお問い合わせください。

以上